

パネル展「身近なクモ」

クモは糸を使って網を張ることで、地中から地上に出て、空中まで生活の範囲を拡げてきた生き物です。現在までに分かっているだけでも 世界で約5万1,000種、日本で約1,600種、千葉県では約450種が確認されており、今後も新種や新記録種が多数見つかるものと思われます。

クモはその存在自体はよく知られていますが、嫌われたり怖れられたりすることの多い動物群です。しかしよく見ると、美しいものや形の面白いものもたくさんいます。また、ハエなどを捕らえる益虫でもあります。今回の展示では、関宿周辺の野外や屋内で普通に見られるクモの姿を写真で紹介いたします。またあわせて、クモの特徴等を説明いたします。

なお、本展示の開催にあたりましては、東京大学でクモ類研究を専門とされている谷川明男博士に素晴らしい画像をご提供いただくとともに、専門的内容についてご教示いただきました。厚く御礼申し上げます。

本展が、身近なクモに改めて目を向けて頂くきっかけになればと願っております。

1 クモってどんな生き物？

クモ類に共通する特徴として、以下のようなものがあります。

(1) 糸を出す

腹部から出る糸を使って網を張ったり、獲物を捕らえたりします。

(2) 変わった生殖行動

精液を触肢(しょくし)に吸い上げ、触肢をメスの生殖器に挿入して精子を渡します。

(3) 毒を持つ

ごく一部の種を除き、牙から毒を出し、獲物を弱らせます。

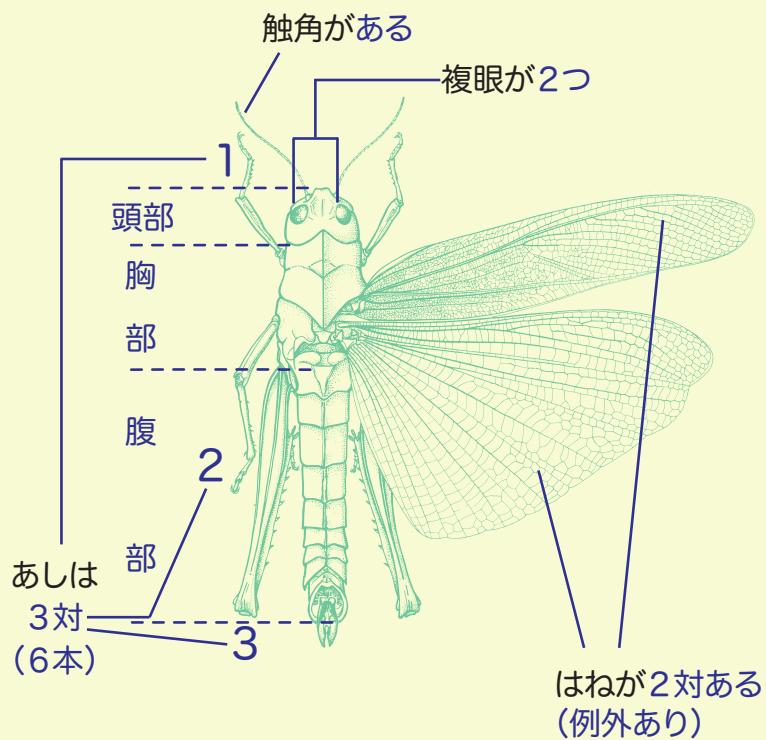
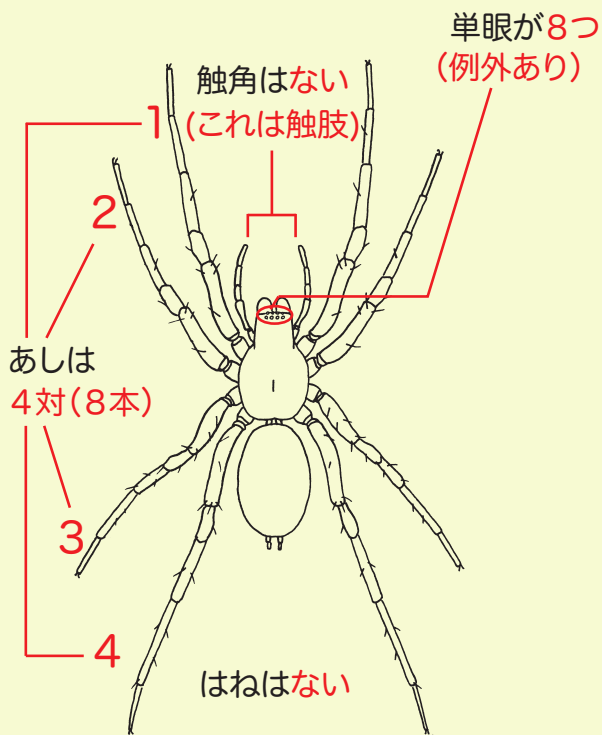
(4) 肉食性

生きた動物（大部分は昆虫や他のクモなどの節足(せつそく)動物、ときにカエルや小鳥などの小型脊椎(せきつい)動物)しか食べません。

(5) 眼は8つ(例外あり)

頭の前縁に、4個ずつ2列、計8個の眼が並んでいます。

クモと昆虫のからだの比較



クモは昆虫ではありません。

2 地中に住むクモ

地中に管状の住居をつくって、その中で暮らすクモです。



巣

ジグモ

画像は全て
谷川明男氏撮影



キシノウエ
トタテグモ

住居

3 網を張るクモ

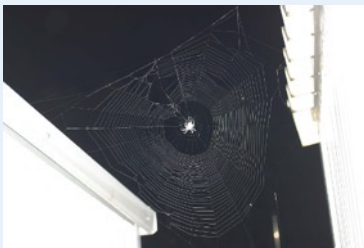
地上や空中に網を張り、そこを住居や獲物を捕らえる罠として利用します。

丸い網を張るクモ



オニグモ

ゴミグモ



網

画像は全て
谷川明男氏撮影

網



コガネグモ

ジロウグモ



ワキグロサツマノミダマシ

画像は全て谷川明男氏撮影

アシナガグモ

丸くない網を張るクモ



オオヒメグモ



ネコハグモ



網



網

画像は全て
谷川明男氏撮影



ヒラタグモ



コクサグモ



クサグモ



網

画像は全て
谷川明男氏撮影

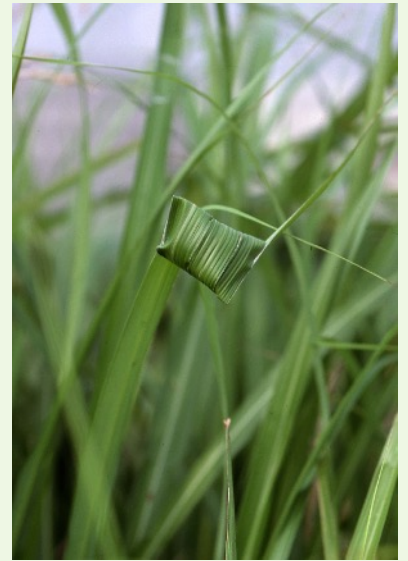
4 網を張らないクモ

クモの中で網を張るのは約6割で、残りの4割は地表や樹上、草上や水辺などで網は張らずに、歩き回ったり待ちぶせしたりして獲物を捕らえます。



カバキコマチグモ

画像は全て谷川明男氏撮影



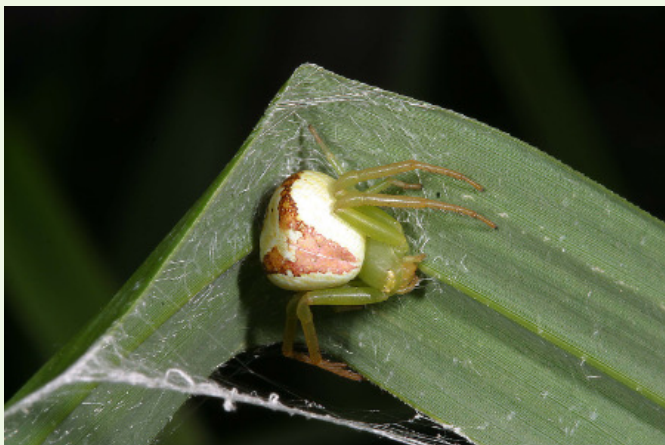
ススキの葉をちまき状に
巻いた産室



ササグモ



イオウイロハシリグモ



画像は全て谷川明男氏撮影

ハナグモ



アリグモ

5 屋内で見られるクモ

人間が家屋を建てて住むようになってから、温湿度の変化が少なく外敵も少ない屋内で暮らすクモが現れました。



網

イエユウ
レイグモ

ユタカヤマシログモ

画像は全て谷川明男氏撮影



チリグモ



アシダカグモ



ミスジハエトリ



アダンソンハエトリ

画像は全て谷川明男氏撮影